

『将来の夢』実現に向けて 太田東高校「公開みらい学」へ講師派遣

5月18日に、太田東高校がキャリア教育の一環として、進路や将来の仕事について考える「公開みらい学」を実施し、構成組織から21名を講師として派遣しました。

1、2年生を対象にして、5～6人のグループに分かれ、「働くこと」をテーマに講師とディスカッションを行いました。生徒たちは、将来の人生設計の参考にしようとして、「高校で学んだことは今の職に役立っているか」「高校でやっておくべきことは何か」など講師に質問しました。



笑顔で話を聞く生徒達

「高校時代の日々の生活や部活動でやって良かったことは何か」との問いに対し、「野球部に所属していたが、レギュラーにはなれなかった。しかし、練習の苦しさを乗り越え、一生懸命努力した結果、忍耐力が付いた」。他には、「仕事で落ち込んだことはあるか」との問いに対しては、「いくつもの壁にぶつかっても乗り越えることで実力がアップする。自分の目標を見つけて頑張ることが大事」と話していました。

終了後、講師を務めた感想について「現在の業務を客観的に見つめ直す良いきっかけとなりました」と、話していました。



高校時代の経験を熱心に説明

男女平等参画推進学習会 女性の社会進出を促進へ

女性の社会進出を促進するための男女平等参画推進学習会を、6月1日に群馬県勤労福祉センターで開催し、構成組織・地協から130名が参加し、働く女性をとりまく社会環境や連合第4次男女平等参画推進計画、産別での取り組み、連合群馬第3次男女平等参画計画について学習しました。

連合本部曾根崎男女平等局長からは、「制度は整っているものの、実際には出産を機に一旦仕事を辞めざるを得ないことが多い。仕事と家庭の両立ができる職場環境を整え、育児休業を取得しやすい社会を作ることが必要」との話がありました。さらに、「連合第4次男女平等参画推進計画」として連合本部、構成組織・単組・地方連合会の取り組みについて説明がありました。



男女平等に関する課題を説明する曾根崎局長



産別の取り組みとして、JAM群馬の鈴木英二氏より、「with(女性活動の中心となっている組織)」において、働く女性に関わる法改正の内容を組合員へ周知するため、壁新聞を作成していることや、産別内の職場見学と意見交換を行っていることが紹介されました。



「with」の紹介
JAM群馬 鈴木氏

自動車総連・ミツバ労働組合の引間敏夫氏からは、事業所内保育所「おひさまガーデン」の導入に至った経緯や概要の説明があり、事業所内保育所は、企業カレンダーとリンクした開園で非常に助かる、保育所の行事にも参加しやすいなど、利用者の声の紹介がありました。



事業所内保育所の紹介
ミツバ労働組合 引間氏

この他、参加者から、「退勤時間が夜遅くなるため、仕事から外されたという、小さい子どもを持つ組合員から相談を受けた。メンバーの一員として働きたくてもそれができない。男性とともに女性の活躍する場を与えてほしい」との意見があり、全体で共有しました。

連合は、毎年6月を「男女平等月間」と定めており、連合群馬では男女平等参画推進の啓発として様々なテーマでセミナーを実施しています。今年は、第3次推進計画が策定されたことから、産別・構成組織、地協への周知と実践に向けた学習会を開催しました。

連合群馬 第3次男女平等参画推進計画(抜粋) 【産別・構成組織】

- ・三役を委員長とした男女で構成する特別委員会を設置し、推進・行動計画を策定
- ・連合群馬・産別の各種行事に全構成組織から女性組合員の積極的な参加

【連合群馬】

- ・次代のリーダー育成に向け、女性委員会だけでなく青年委員会とも連携を強化

【地域協議会】

- ・女性委員会の設置